

# 緑化だより

No.82 平成25年4月号



修善寺寒桜 平成24年4月18日撮影

- きのこの香り(1)
- 春の園芸作業
- 日本の桜
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内



**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

## きのこの香り

### (1) アオイヌシメジ(青犬占地)

4月から、特徴のある香りを持ったきのこをとりあげていきます。

1回目は“さくら餅”のような香りがするアオイヌシメジです。いい香りがするきのこは数少ないのですが、その中の一つです。

アオイヌシメジは秋、広葉樹林内の落葉が堆積したところに発生します。

傘の直径は3～8cm、表面は灰緑色～淡い青緑色です。青っぽい色のきのこは数少ないので、傘の色だけでもアオイヌシメジではなかろうかと思えるくらいです。傘の縁は幼菌の時には内側に巻いています。

ひだは密で、最初白色ですが、のち淡い黄色から淡い緑色を帯びてきます。基部は白色の綿毛に覆われます。

このきのこは食用になります。いい香りがしてなおかつ食用になるきのこは、ほんとうに少ないのです。

さくら餅の香りはクマリン臭とも言われ、欧米の参考書では、「アニス様のにおい」と表現されています。(川上)



アオイヌシメジ

## 春の園芸作業

暖かくなる4月、木々や草花も本格的に活動を始めます。

パンジー、ノースポールなど花壇の草花もこれから盛りを迎えますが、良い状態を長続きさせるために次のことに気をつけて下さい。

①花ガラ・枯葉摘み 終わった花や葉をそのまま残すと株の中まで日が差し込まず、通気も悪くなるため、病害虫の巣にもなりやすいので、こまめに摘み取りましょう。

②追肥 次々と花を咲かせると肥料分も切れってきます。固形化成肥料を与えたり、7～10日に1回液肥をやると効果があります。

③病害虫駆除 長雨が続く低温多湿が続くと花や葉に斑点が出来たりカビが生えることがあります。

灰色カビ病です。放置しておくと広がり、株が腐って枯れてしまいます。見つけ次第摘み取り、殺菌剤を散布して下さい。気温が上がるとウドンコ病やアブラムシ、ハダニが発生しやすくなります。ウドンコ病には殺菌剤、アブラムシには殺虫剤、ハダニには殺ダニ剤で駆除しましょう。(山根)



パンジーに発生した灰色カビ病

# 日本の桜

世の中に 絶えて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし 在原業平  
古代より、日本人の桜好きは今日も変わりません。

古くは、桜といえばヤマザクラでしたが、江戸末期に「吉野桜」として売り出された染井吉野が、その華やかさと散り際のいさぎよさから、あっという間に日本中を席卷し、8割を占めるようになりました。エドヒガンとオオシマザクラから生まれた染井吉野は、自然交配か人工交配かは未だに結論を得ていません。

日本で桜の野生種は、エドヒガン、オオシマザクラ、オオヤマザク、マメザクラなど9種類(10種類、11種類説あり)といわれています。

この野生種から自然交配や人工交配で生まれた品種を里桜といい、現在では400種を超えています。今もなお新しい品種が登録されています。

人工交配で有名なのが「啓翁桜」で、山形県や富山県で促成栽培されたものが、早春の生花材料として市場に出ています。

「啓翁桜」は昭和5年久留米市山本の良永啓太郎氏がカラミザクラの台木にヒガンザクラを接いで作出したもので、作出者の名前が付けられています。

平成17年には、広島県職員であった佐藤文雄氏が新品種「佐藤染井」を登録されています。緑化センターにも寄贈を受け苗畑で大切に育てています。

平成24年、理化学研究所がイオンビーム照射による変異誘発技術により、八重で大輪の「仁科春果」と小輪の「仁科小町」を作出しました。

人工交配種に対して自然交配種も数多くあります。

その中で、十月桜、冬桜、子福桜、四季桜など秋と春に2度咲く種類があります。

「十月桜」は、マメザクラとエドヒガンの種間雑種と考えられていますが、八重で小型の花にどうしてこれだけのエネルギーがあるのかと思うほど、センターでは10月から咲き始め、今も花見ができるほど枝一杯に咲き続けています。

一足早く咲く「河津桜」は、オオシマザクラとカンヒザクラの自然交配種と推定されています。昭和30年に飯田勝美氏が静岡県の河津町で偶然発見したものです。

変わり種では、「兼六園菊桜」があり、花卉が300~350枚もあります。

菊桜と名がつくものは、花卉の数が飛びぬけて多い種類です。

桜好きの日本では、これからも数多くの品種が生まれることでしょう。(正本)



啓翁桜



サトウソメイ

## 研修会のご案内

- 4月 6日(土) 『4月の自然探勝』  
春の里山と桜を観察しよう  
10:00～12:00 管理事務所前集合  
講師:植物研究家 清藤 徹
- 4月 20日(土) 『八重桜めぐり』  
八重桜を中心に遅咲きの桜を観察しよう  
10:00～12:00 管理事務所前集合  
講師:植物研究家 中塚 道則
- 4月 21日(日) 『山菜教室』  
山菜とその料理方法について学ぼう  
10:00～12:00 学習室 集合  
講師:森林インストラクター 長井 稔  
※ 要予約・無料  
森林インストラクター 横田 登美子
- 5月 1日(水) 『5月の自然探勝』  
春の里山と桜を観察しよう  
10:00～12:00 管理事務所前集合  
講師:環境省希少野生動植物  
種保存推進員 吉野 由紀夫

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

### イベント

“さくら祭り” 4月 1日(月)～28日(日) 9:00～16:00

期間中、約30種類、700本あまりの桜を楽しむ事が出来ます。

さくらクイズラリーで景品をゲットしよう!

“さくら祭りイベント” 4月 14日(日) 10:00～15:00 レストハウス前

ネイチャーゲーム、ノルディック・ウォーク、手品ショー、フリーマーケット、

さくら餅や花苗販売など盛沢山

“みどりの集い” 4月 29日(月・祝) 10:00～15:00 多目的広場ほか

和太鼓、地元野菜販売、紙芝居、ツリークライミングなど

楽しい催しがいっぱい。

詳しくはチラシでご確認下さい。

### ◎ 展示会のお知らせ

展示場所:レストハウス

(ガラスケース)

#### 筆文字ことば創作作品展

3月 6日(水)～ 4月 22日(月)

#### 七宝焼同好会作品展

4月 25日(木)～ 5月 27日(月)

(ボード展示)

#### 緑化センターのサクラ写真展

3月 28日(木)～ 4月 30日(日)

4、5月の休園日はありません。



“筆文字ことば作品展”より

表紙: 修善寺寒桜 (しゅぜんじかんざくら)

カンヒザクラとオオシマザクラの種間雑種とされ、  
大木になる。

静岡県修善寺町の修善寺に大きな老木がある。